

第三者評価結果

事業所名：京進のほいくえん HOPPAたまプラーザ

共通評価基準（45項目）

I 福祉サービスの基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
I-1-(1)-① 【1】 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 理念や基本方針を明文化し、入園案内・公式ホームページでの掲載し、説明をおこなっています。職員に向けた取り組みでは、入職時の説明や会議等で読み合わせを行うことにより、理解の促進に向けた体制を整えています。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
I-2-(1)-① 【2】 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 定期的に他事業者の提供するサービスを調査し、積極的な情報収集をおこなう事で、事業経営をとりまく環境と経営状況の把握・分析をしています。さらに複数の自治体に姉妹園がある強みを活かし、自治体ごとの特色の相違を把握し、より客観的な事業経営をとりまく環境と経営状況の把握・分析をしています。	
I-2-(1)-② 【3】 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<コメント> 把握・分析をした情報を法人本部と園の間で共有する会議を設けており、具体的な課題や問題点が適切に抽出・共有しています。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
I-3-(1)-① 【4】 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<コメント> 企業理念である「ひとりひとりを大切に」という考えをもとに、「子どもたちの健やかな成長を応援したい」「子どもたちが未来に向かって大きく飛躍できますように」といった想いを掲げ、安全や教育を特に意識した計画を策定しています。	

<p>【5】 I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p>	a
<p><コメント> 中・長期計画を踏まえた単年度の事業計画や行事計画などが策定されています。単年度の計画は基本的な安全対策から各年齢に合わせた独自の教育プログラムを活かした実現可能なものとなっています。さらにサービスを提供する側の職員の研修も計画しています。</p>	
<p>(2) 事業計画が適切に策定されている。</p>	
<p>【6】 I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p>	a
<p><コメント> 中・長期的なビジョンも含めて毎年の見直しををおこなっています。見直しにあたっては各園の職員から収集した意見をもとに施設長がとりまとめ、法人本部と共有して実施状況の把握や評価をした上で適切におこなっています。</p>	
<p>【7】 I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。</p>	b
<p><コメント> 策定した計画は園内の掲示は保護者が閲覧可能なアプリなどを使用し、保護者などに周知し理解を促している。</p>	

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

<p>(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。</p>		第三者評価結果
<p>【8】 I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。</p>	a	
<p><コメント> 保育の質の向上に向けた取り組みとして、全体計画を踏まえ個人の目標管理シートや自己点検・自己評価公表シートを作成し、上長との面談を行っています。</p>		
<p>【9】 I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。</p>	a	
<p><コメント> 日々の職員ミーティングをもとに課題を抽出し、議事録を作成しています。施設長会議などの機会を活用して他園のでの改善対策も参考にして、計画的な改善策の検討・実施をしています。</p>		

II 組織の運営管理

1 管理者の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。	第三者評価結果
【10】 II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント> 施設長は自らの役割と責任を明確にし、職員会議で周知しています。さらにおたよりや園内掲示物に記載して周知・理解を図っています。	
【11】 II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<コメント> 施設長は法人が開催する施設長会議などを通じて、関係法令などを理解するように努めています。理解した関係法令などは職員会議などで職員への情報共有をおこない、必要に応じて書面を園内に掲示して職員がより正しく理解できるように取り組んでいます。	
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
【12】 II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 定期的に職員との面談をおこなうこと以外にも、日ごろから積極的に職員とコミュニケーションをとり、状況を把握するとともに職員からの様々な意見を集めています。職員から出たイベントのアイデアを積極的に採用し、意欲的にさまざまな取り組みをおこなっています。	
【13】 II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 積極的に職員とコミュニケーションをとることで、園全体を話しやすい場所となるように努めています。形式的な配置にとらわれずに人員配置を工夫し、業務の実効性を高めています。	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
【14】 II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<コメント> 職員の目標管理や評価を定量的におこない、その結果を処遇に反映することでの確な人材の確保・定着に取り組んでいます。	

【15】 II-2-(1)-②
総合的な人事管理が行われている。

b

<コメント>

職員の評価などは法人本部に集約し、法人全体として総合的・的確な人事管理をおこなっています。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

【16】 II-2-(2)-①
職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。

a

<コメント>

専用のアプリを導入して就業状況を把握しています。定期的な面談や日々のコミュニケーションを通じて職員の意向を把握しています。職員配置の改善にも取り組み、ライフワークバランスがとれた環境づくりをしています。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

【17】 II-2-(3)-①
職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。

a

<コメント>

個人の目標管理シートを用いて定期的に施設長と面談をおこない、適切な育成に取り組んでいます。

【18】 II-2-(3)-②
職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

a

<コメント>

職員全員が参加する法人全体での研修や、個人の経験に合わせた研修の他に、本人の希望も踏まえて研修を計画しています。

【19】 II-2-(3)-③
職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。

a

<コメント>

全員が参加する研修ではない研修は、特定の職員のみが参加することにならないように、受講頻度のバランスをとって計画・実施しています。

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

【20】 II-2-(4)-①
実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。

b

<コメント>

実習生を受け入れるために、実習生用のプログラムを考えたり、実習生に対して守秘義務などに関する適切な書面を用意して、実習生を受け入れる体制を整備しています。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
【21】 <small>Ⅱ-3-(1)-①</small> 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<コメント> 運営の透明性を確保するために、ホームページやSNSを通じて適正な情報公開をおこなっています。	
【22】 <small>Ⅱ-3-(1)-②</small> 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<コメント> 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のために、関係法令に合った各規定の整備や、保護者へのアンケート調査などの取り組みをおこなっています。それに加えて外部専門家による行政監査や社内監査もおこなっています。	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
【23】 <small>Ⅱ-4-(1)-①</small> 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<コメント> 近隣児童福祉施設と協力して年長児交流会をおこない地域との交流を広げています。	
【24】 <small>Ⅱ-4-(1)-②</small> ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<コメント> ボランティアの受入れの際には事前に施設長からオリエンテーションを実施することで、法令遵守における留意点の把握や、子どもとの関わり合いをスムーズに展開できるように配慮しています。	
(2) 関係機関との連携が確保されている。	
【25】 <small>Ⅱ-4-(2)-①</small> 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<コメント> 園の代表者が近隣地域の交流会に参加し、地域の福祉ニーズ等の情報交換をおこなうなど、関係機関との連携に努めています。交流会で得た情報は職員会議などで共有しています。	

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
【26】 II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<コメント> 地域の福祉ニーズ等を把握するために、近隣地域の交流会への参加や、関係機関からの情報収集に取り組んでいます。	
【27】 II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<コメント> 園は地域の福祉ニーズに応えるため、入園する子どもを保育するとともに、家庭や地域の様々な社会資源との連携や、保護者の子育て支援に取り組み、安定した運営をおこない地域に貢献しています。	

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

1 利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	第三者評価結果
【28】 III-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<コメント> 子どもを尊重した保育の提供に向けて、関係法令や法人の方針をよりよく理解するための全社研修をおこなっています。日々の様子はおたよりやSNSを通じて保護者へ共有しています。	
【29】 III-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
<コメント> 子どものプライバシー保護に配慮するための社内規定を整備し、関係法令に準拠しています。各種研修を受講することで、子どものプライバシー保護についての職員の知識向上にも取り組んでいます。	
(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
【30】 III-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<コメント> ホームページやSNSなどを利用して、日々の様子を積極的に提供しています。必要に応じて園見学をおこない、より詳しい施設や保育の情報を提供しています。	

【31】 Ⅲ-1-(2)-②
保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。

a

<コメント>

入園に関わる手続きでは、重要事項説明書などの書面を用いた説明に加え、成育歴・家庭状況・配慮事項などを面談で詳しく聞き取りをおこなっています。言語や文化の対応が必要な場合は、各家庭の状況に合わせて必要な配慮をおこなっています。

【32】 Ⅲ-1-(2)-③
保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。

a

<コメント>

利用者の事情により転園が生じた場合は、子どもが次の園でも安心して過ごせるように保育の継続性に配慮しています。転園先からの問い合わせに応じ、保育に関わる必要な情報の提供をおこなう体制を整えています。また、保育所の利用が終了した後も、施設長が関係機関との連携の継続に努め、保護者から相談を受け付け出来る体制を整えています。

(3) 利用者満足の上昇に努めている。

【33】 Ⅲ-1-(3)-①
利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。

a

<コメント>

定期的な面談、行事後のアンケートに加え、園の運営に関するアンケート調査をおこない、利用者満足の上昇に向けて積極的に取り組んでいます。

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

【34】 Ⅲ-1-(4)-①
苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。

a

【判断した理由・特記事項等】

苦情解決の責任者や受付窓口を設置しています。苦情解決の体制を園内に掲示することで周知しています。また、実際にあった苦情は的確に記録・保管しています。

【35】 Ⅲ-1-(4)-②
保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。

a

<コメント>

保護者が担任や施設長に直接相談や意見ができ、保育に関するアンケート調査もおこなっています。その他にも区役所の担当部署へも連絡できるようになっています。

【36】 Ⅲ-1-(4)-③
保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。

a

<コメント>

保護者からの相談や意見があった場合には必要に応じて職員間で共有して対応の検討をおこなっています。対応に時間を要する場合にはその旨の説明をおこなっています。

(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
【37】 Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<コメント> 安心・安全な福祉サービスの提供するために法人本部で優先事項を設定しリスクマネジメントをおこなっています。事故に対する規定類も整備し、ヒヤリハットや事故記録の作成・共有はとても重点的におこなっています。	
【38】 Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<コメント> 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のため関係法令などに準拠して取り組みをおこなっています。ケース別の対応方法を園内に掲示し、迅速で的確な対応がとれるように努めています。万が一発生した場合には園内掲示や保護者が閲覧可能なアプリを利用して情報を共有しています。	
【39】 Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<コメント> 災害時における子どもの安全確保のため、必要なマニュアルを整備しています。災害時の組織を定め、掲示しています。入園案内に災害時の対応についてのお願いを記載して周知しています。災害時に備えた訓練を実施し、備蓄品も整備しています。	

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
【40】 Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<コメント> 保育について標準的な実施方法についてマニュアルを作成し、提供しています。	
【41】 Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<コメント> 標準的な実施方法は職員会議にて検証・見直しを定期的におこなっています。	

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
【42】 Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a
<コメント> 全体的な計画にもとづき、施設長を責任者として職員全員で、一人ひとりの子どもに配慮した指導計画を適切に作成しています。	
【43】 Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<コメント> 職員間で情報共有できるシステムを導入し、職員全員が評価・見直しに関わる体制を構築して、定期的に指導計画の評価・見直しをおこなっています。	
(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
【44】 Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<コメント> 子どもに関する保育の実施状況の記録・共有できるシステムを導入し活用しています。職員会議においても情報の共有をしています。	
【45】 Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<コメント> 関係法令に準拠した規定の整備や、記録管理の責任者を設置し、子どもに関する記録の管理体制を整えて適切な情報管理をしています。	